京都府立医科大学大学院保健看護学研究科 ディプロマポリシー(学位授与方針)

<博士前期課程>

博士前期課程では、大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者は、1年以上）在籍して所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とする。

課程修了にあたっては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、保健医療等の分野において、学際的展開を図りうる保健看護学の研究者及び広域的な指導力を発揮できる高度な専門職業人として、以下の見識と能力を有していることを目標とする。

- (1) 保健看護学分野における専門的な知識と技術に裏付けられた実践能力を身につけている。
- (2) 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を修得している。
- (3) 自らの研究成果を国内外に発信できる基礎的能力を身につけている。

<博士後期課程>

博士後期課程では、大学院に3年以上在籍して所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とする。

課程修了にあたっては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、高い倫理性を持ち保健看護学の卓越した教育研究能力と実践能力を兼ね備え、高度化複雑化する臨床や地域包括ケアなどの場面で主導的に活躍する高度な専門職業人として、以下の見識と能力を有していることを目標とする。

- (1) 高度な専門的知識と自らの実践を統合して、看護の実践を実証する教育研究能力を身につけている。
- (2) 高度化複雑化する臨床現場における新たな看護方法やケアシステムを構築し、また、社会の課題に対応した地域包括ケアシステムの開発などの実践能力を有している。
- (3) 保健看護学の学際的研究推進に必要な高い倫理観を修得している。
- (4) 保健看護学の研究成果を応用し、看護の質向上に寄与することができる。